

# 石川庁舎の跡利用案

日時：平成25年8月27日(火) 19:00～  
 場所：石川保健相談センター 2階ホール  
 参加人数：17名(事前見学会参加2名)

# 青 チーム

## 現状分析と課題の抽出

- 駐車場が広い(大型バスが乗入可能)
- 劇場との一体的な利用が可能
- 宮森630の展示
- 仕切れば使いやすい室となる(大学の教室として最適)

### 強み

### 弱み

- ICに近く市内外からの交通アクセス抜群
- 体育施設や文化施設が周辺に立地
- 産業系施設や沖縄科学技術大学院大学が周辺に立地
- 高齢者の活動の場が不足している(高齢者対策が必要となる)
- 働く場所が不足している
- 大人数で食事ができる場所がない
- 宮森小ジェット機墜落事故写真展に多くの修学旅行生が訪れる。

### チャンスとなる要因

### 障害や困難となる要因

- 使いづらい平面構成
- 築27年で今後鉄筋の腐食とセメントの劣化が心配

- 生活利便施設は周辺にひと通り揃っている
- 海拔1mであり、防災性に欠ける(対策がなされていない)
- 統合庁舎の建設に伴い、行政機能がなくなる
- 子どもの数が減っている

## 求められていること

- 《地域意見交換会及び地区意見交換会》
  - 今以上の雇用創出や経済効果
  - 市外からも人を呼べる施設(飲食店/商業施設/宿泊施設/娯楽施設/資料館/大学や専門学校)
  - 市民が集まり活動できる施設(公民館/学習室/子どもと高齢者の交流施設/老人福祉施設)
  - 駐車場の活用
  - 民間事業者への売却や賃貸
- 《庁舎の跡利用に関する市民アンケート》
  - 地元の雇用を生む場や市民の暮らしを便利にする場
  - 道の駅などの観光客向けの施設を期待する一方で、市民サービス機能や娯楽機能といった市民向け施設への期待も高い
- 《職員アンケート》
  - 観光施設や防災関連施設が不足していると感じているが、オフィスなどの業務施設や市民サービス機能への期待が高い

- 人口増加や地域活性化につながる教育施設
  - ・ 飲食店、賃貸住宅の増加
  - ・ 学術交流による集客
- 周辺の体育施設を活用した医療・福祉の場
- 四世代交流の場
- 修学旅行生の受け入れ
  - ・ 宮森小ジェット機墜落事故写真展
- 行政機能を支所として残す
  - ・ 県や市関連施設としても利用

## 跡利用の方向性(コンセプト)と跡利用計画案(ゾーニング)

- ◆ 経済効果、雇用効果を生む場所
- ◆ 人材育成や文化の発展により、地域が活性化する

### 発表する場



- ・ 大学による多目的利用  
例) 市民講座、学術会議、講演会
- ・ 沖縄市の音市場のようなコミュニティイベントで活用し、市内外から集客
- ・ 宮森630の展示(歴史民俗資料館との併設も考慮)
- ・ 修学旅行生の受け入れ

### 教育の場所



- ・ 医療福祉教育の場(大学)
- ・ ハイテク教育の場(IT、ipad)
- ・ 全国から訪れる修学旅行生の平和学習の場として活用
- ・ 人材育成、雇用対策、地域との交流にも活用
- ・ 3000人の学生を集めることで地域に消費者が増加し、地域活性化に寄与
- ・ 学校クリニック、学術交流施設も備える

### 高齢者の活動の場所



- ・ 健康長寿活動

### 市民の交流



- ・ 施設を市民に開放

### 保育機能



- ・ 待機児童解消の為、認可保育園の増設

### 飲食機能



- ・ 大人数の人が食事ができるレストラン
- ・ 地域の人々が利用できるレストラン

### PR機能



- ・ 特産物コーナーの設置

### 市民サービス機能



- ・ 窓口が必要
- ・ 小学校区単位に必要